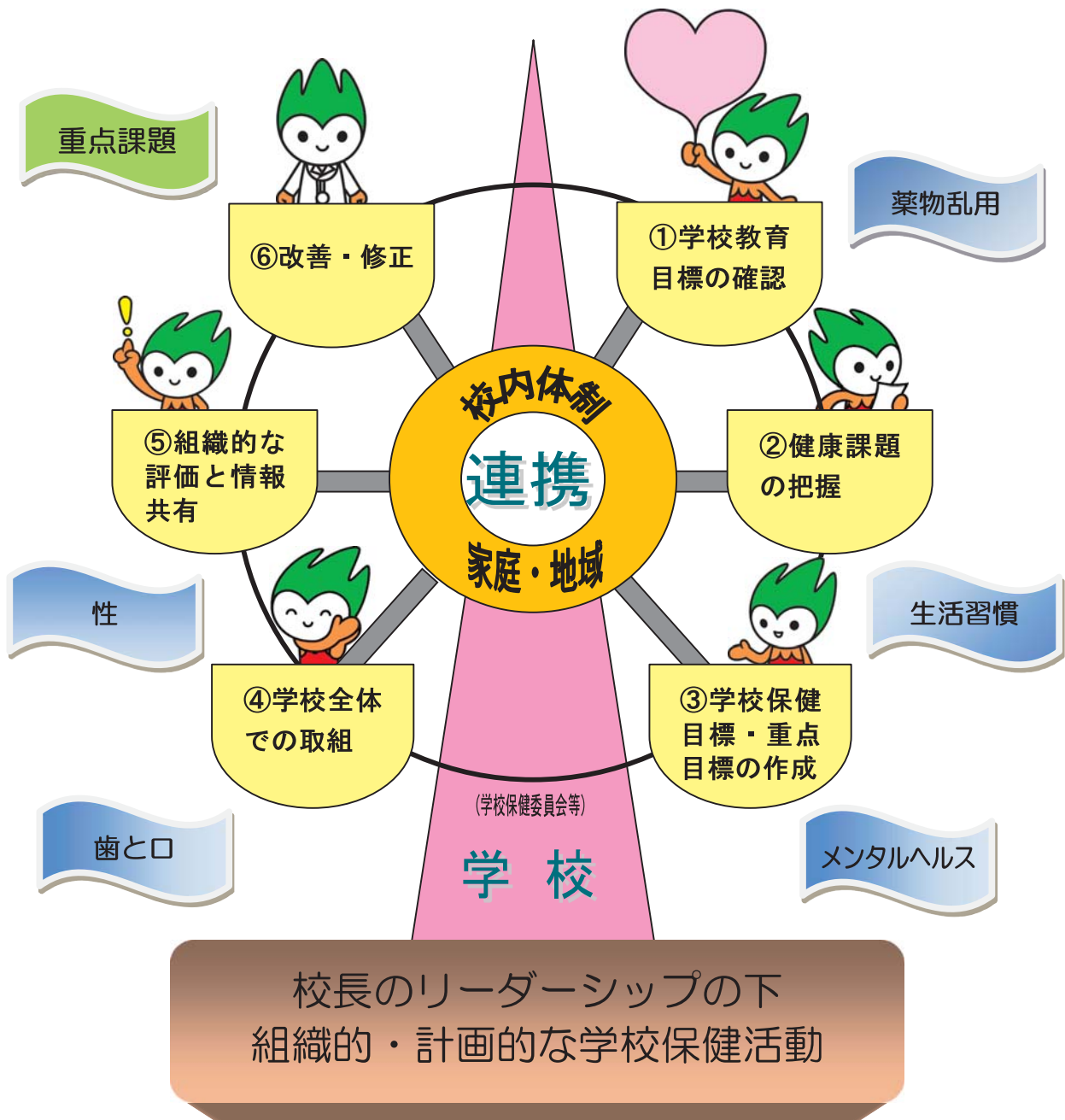


# 子どもの健康をみんなで支えるために

## 目 標

学校・家庭・地域が連携して、子どもの現代的な健康課題の解決を図る。



平成23年3月

山口県地域専門家総合連携協議会 山口県教育庁学校安全・体育課

# 子どもたちが学校生活を健康に過ごすことができるよう、 学校・家庭・地域が連携して学校保健活動の計画的・組織的な取組を進めます

## 【取組方法】

山口県では課題Ⅰ～Ⅴまで、5つの重点課題を取り上げています。

現代的な健康課題に対しては、健康実態等を踏まえ、達成可能な目標を定めて取り組むことが有効です。

ここでは、それぞれの課題についてのポイントとチェックリストを提示しています。

これらを参考に組織的・計画的に学校保健活動に取り組んでいきましょう。

そのためには、**校長のリーダーシップの下、教職員が協力し、遅滞なく、保健指導にあたる**ことが大切です。

## 課題Ⅰ 生活習慣に関する課題

### ポイント

- ☆規則正しい生活リズムの定着
- ☆保健指導の充実（体重測定、全校集会時等）
- ☆生活しらべの実施・振り返り、保護者との連携
- ☆学校保健委員会の充実（専門家の意見を受け、学校と家庭での役割を確認）

### チェックリスト

- ★取組内容について、全教職員で共通理解できているか。
- ★実態調査の結果を、学校だより等で保護者に知らせているか。
- ★連携先に対して、学校の取組や子どもの実態等を知らせているか。

### 連携先

学校医等、学識経験者、臨床心理士、栄養士 等

## 課題Ⅱ メンタルヘルスに関する課題

### ポイント

- ☆事例検討会や研修の充実
- ☆保健学習の充実（ストレスとのつきあい方、人間関係づくり等）
- ☆担任、教育相談・生徒指導担当、養護教諭等の相互の連携
- ☆健康観察・健康相談の充実 等

### チェックリスト

- ★教育相談・健康相談の対象者について、1ヶ月に1回程度、校内で話し合い、サポート体制を取っているか。
- ★家庭・地域・関係機関との連携が十分図られているか。
- ★教職員が話をしやすい雰囲気づくりはできているか。

### 連携先

スクールカウンセラー、学識経験者  
スクールソーシャルワーカー 等

## 課題Ⅲ 性に関する課題

### ポイント

- ☆年間計画の作成
- ☆組織づくりと研修体制の確立
- ☆集団指導と個別指導の充実 等
- ☆外部講師による講演・研修会の充実

### チェックリスト

- ★性教育の年間計画について、全教職員で共通理解できているか。
- ★学校で組織的・計画的に取り組むよう、定期的に指導内容を検討しているか。
- ★学校での取組を保護者に周知し、理解を得ているか。

### 連携先

医師（産婦人科等）、助産師、保健師、学識経験者 等

## 課題Ⅳ 歯と口の健康に関する課題

### ポイント

- ☆健康診断及び事前事後の保健指導の充実
- ☆学校歯科医や歯科衛生士と連携したブラッシング指導の充実
- ☆委員会活動による歯磨きの推進
- ☆歯の衛生週間の活用

### チェックリスト

- ★自校の歯と口に関する課題を把握し、全教職員で取組内容について共通理解を図っているか。
- ★学校歯科医との連携は図られているか。
- ★児童生徒の歯磨きの仕方が把握できているか。

### 連携先

学校歯科医、歯科衛生士 等

## 課題Ⅴ 飲酒・喫煙・薬物乱用防止に関する課題

### ポイント

- ☆講演・研修会の実施（外部講師の活用等）
- ☆保健学習の充実（ロールプレイング等の活用）
- ☆学校薬剤師等との連携

### チェックリスト

- ★自校の課題を把握し、全教職員で取組内容について共通理解を図っているか。
- ★学校薬剤師や地域の関係機関と連携を図り、指導方法を工夫しているか。
- ★「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」を実施しているか。

### 連携先

学校薬剤師、警察、健康福祉センター 等

# 学校保健活動の進め方

学校保健を推進していくためには、以下の3点に取り組む必要があります。

- ①学校・家庭・地域社会の役割の明確化と健康づくり推進に向けた協力体制の整備
- ②学校保健計画の具現化とマネジメントシステム（PDCA）の導入
- ③学校保健委員会等の内容の充実と学校保健関係者との連携の強化

学校保健活動は、極めて多方面にわたり、多くの人々の協力を得ながら展開されるため、携わる人々が共通理解を図り、学校教育目標・学校保健目標の達成に向けて組織的・計画的に進められる必要があります。

その中心的役割を担う組織が学校保健委員会であり、内容の充実と運営の活性化が求められています。

## 【生活習慣をテーマとした学校保健委員会の取組例（小学校）】

### 1回目開催（1学期）

- ・健康診断・新体力テスト・生活実態調査等から学校の課題把握
  - ・議題：「早寝・早起き・朝ごはん」への取組について
  - ・参加者：児童保健委員、保護者、学校三師、教職員、スクールカウンセラー  
栄養教諭、保健師 等
- ☆学校保健委員会開催後
- ・「児童用保健だより」、「保護者用保健だより」で取組計画の啓発や協力依頼
  - ・生活チェックシートの作成及び活用
  - ・PTAの活動に取り入れる

学校保健の重点  
目標との関連

多くの人に支えてもらえる  
組織づくりが大切。

教職員全員での共通理  
解が大切。

PTAの協力が必要。

### 2回目開催（2学期または3学期）

- ・取組の成果発表（教職員：子どもの変容、改善された点、見直しが必要な点 等）
  - ・児童保健委員会発表（保健委員：意識啓発に向けた取組内容）
  - ・家庭での様子報告（PTA：取組事例、意識が変わった点 等）
  - ・地域の専門家からアドバイス
  - ・今後の取組について協議
- ☆学校保健委員会開催後
- ・「児童用保健だより」、「保護者用保健だより」で改善点と課題を報告
  - ・次年度への取組に反省点を生かす

学校評価等で取り上げる。

組織的に推進されるよう、体制作りを進めていく。

発行 山口県地域専門家総合連携協議会事務局  
山口県教育庁学校安全・体育課（山口県山口市滝町1番1号）  
電話 083-933-4685  
ホームページ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/index/>